

ジョリパット不燃  
JQ-200シリーズ  
マイルドプラスター仕上げ  
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社  
第二R&Dセンター  
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジヨリハット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JP-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 8㎡/缶

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ (剣先ゴテ)

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

## <マイルドプラスター仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

・ジョリパット不燃を無希釈で0.8kg/m <sup>2</sup> となるよう ステンレスゴテにて平滑に塗布する。
---

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. パターン付け

配 合	JQ-200シーラ <sup>ス</sup>	20kg
塗 布 量	約1.5kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテのエッジ部分に力を入れ、 下から上へゴテを動かし、パターン付け する。(図-2) パターン付けは、ランダムに行う。 (図-3)	

24時間以上放置して乾燥させる。

### <施工のポイント>

- ・ コテのエッジ部分に力を入れ、ジョリパット不燃を下から上へ塗り延ばすような感覚で動かし、最後は手前にコテを跳ね上げるようにしてパターンを付ける。  
(図-2)

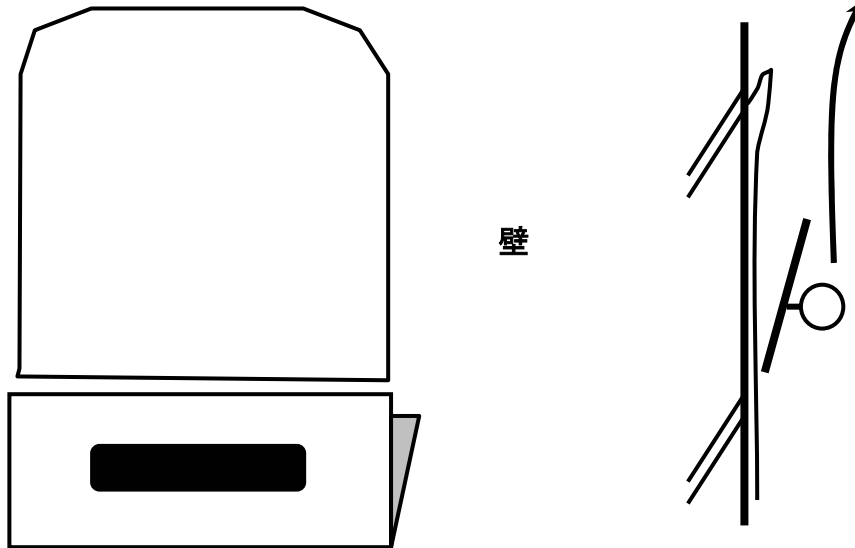


図-2

- ・ パターンの頂上部分が横方向にそろわないようにパターン付けし、隣り合う模様との間には、隙間をあける。(図-3)

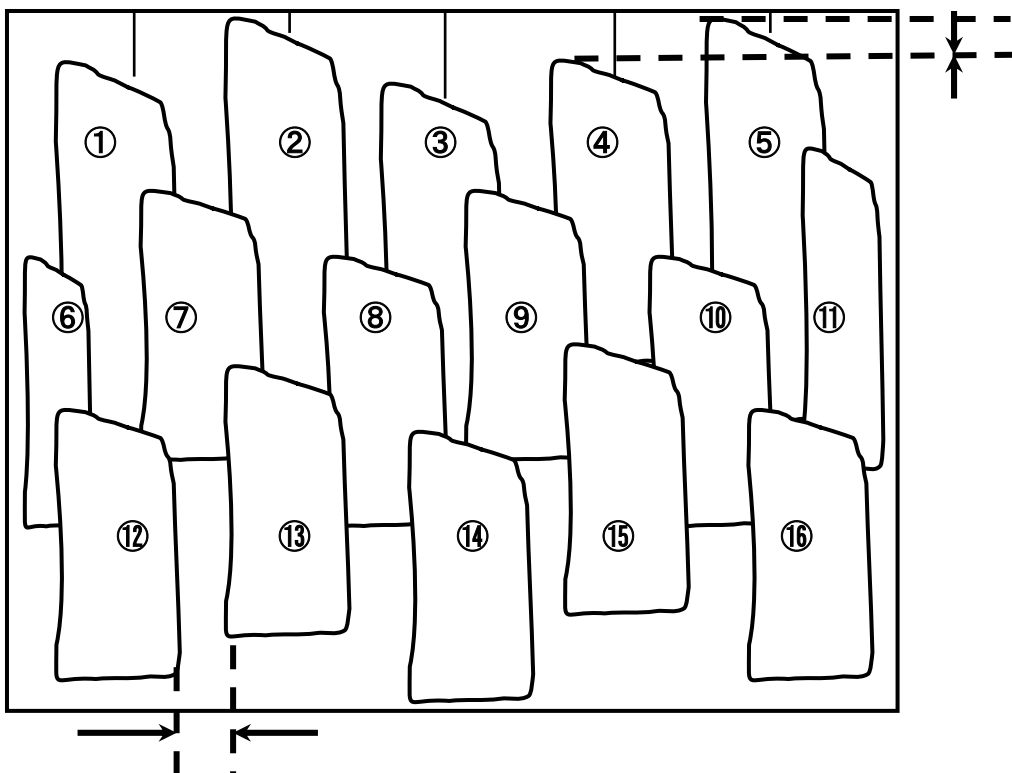
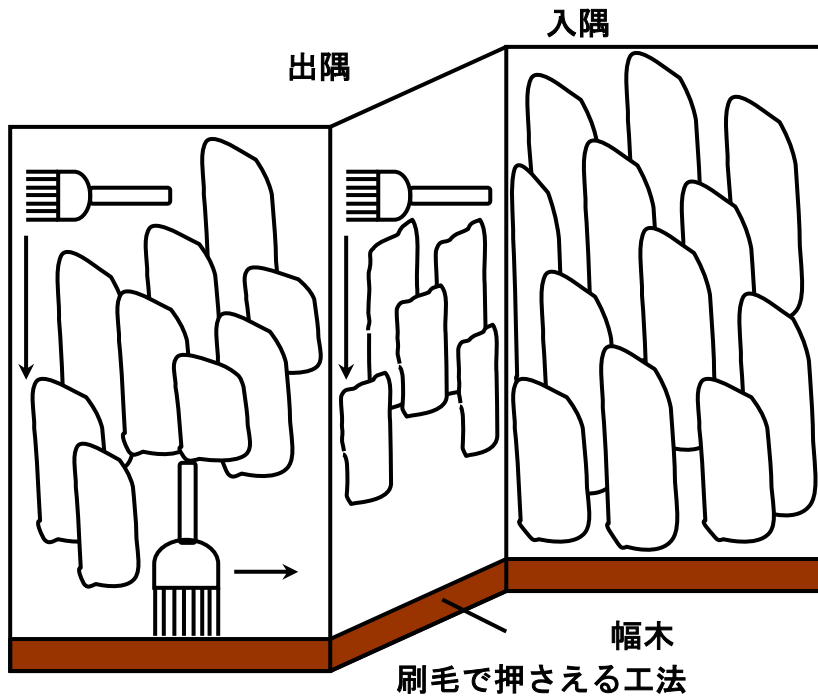


図-3

### ○入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図—4）



図—4

### <施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ コテの大きさや形状によりパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、ジョリパット不燃が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。（特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以上